

# 市政を問う!

平成29年12月定例会、9人の議員が一般質問に立つ(文責は、いずれも本人)

平成29年12月定例会

ここに注目

一般質問

委員会報告

平戸のチカラ

## ●一次産業の振興について



松本 正治 議員

**問** 長崎県で開催された共進会で優秀な成績を取め、日本一の長崎和牛との高評価を得て生産者の意欲も充実してきたと思うが、今後の展開をどのように考えるか。

**答 市長** 水産業については、水温が1〜2度上がるだけで海藻等の生態系や海流の変化が起き、結果、魚類の回遊経路に大きく影響する。近年のイカの不漁を初めとし、気象状況の影響を大きく受ける沿岸漁業の現状把握と今後の取組の方向性については。

**答 市長** 農林関係の取り組みについては、平戸市総合計画や総合戦略を基に、県事業を活用しながら取り組んでいる。特に本市農業の活性化を図るには農業生産の3分の1を占める肉用牛の振興が重要である。今後繁殖牛経営の安定を図るためには、購買者から求められる子牛の生産、多頭飼育農家の育成、キャトルセンターの増設による省力化対策などが必要である。

次に水産業については、気象変動

## ●レストハウスの現況は

### 平戸の観光戦略策定は



辻 賢治 議員

**問** レストハウス整備活用検討委員会の中間報告が出された。機能としての300人規模の多目的スペースは、ホールであると解釈してよいか。

**答 文化観光工部部長** 意見集約の中でスペースとは、ホールを念頭に置いた意見であった。

**問** 未来創造館には、ホールは作らないと行政が判断し、議会も了承した。レストハウスの整備活用においては、産業建設委員会の所管事務報告で「未来創造館の補完施設でないこと」とあり、ホール整備案は議会の意見に差異がある。文化センターの活用ではだめな理由は何か。

**答 文化観光工部部長** 大きすぎる、設営に時間がかかる。冷暖房費の負担が大きいなどである。

**問** 公共施設の適正化が今後議論される中、これらの理由で建設となれば、市民の理解は得られない。議会の総意も尊重されるべきである。

**答 文化観光工部部長** 施設の整備、建設については、所

## ●一次産業の振興策は

### 消防行政の現状体制は適切か



池田 稔巳 議員

**問** 一次産業の振興は、市の財政力強化に欠かせない施策である。現状と今後の考えを問う。

**答 市長** 人口減少や従事者の高齢化により担い手の減少で産地の縮小が課題となっている。

**問** 今後は、広域的な労力支援組織の設立、キャトルセンターの整備、機械化作業体系の構築、ICTを活用したスマート農業などの新技術を導入した省力化対策を推進していく。

**問** 水産業において、陸上養殖の今後の見直しは。

**答 農林水産部長** 陸上養殖は、天然資源の動向など、今後とも重要性が増すと考えられており、赤潮などの被害も低く、区画漁業権の免許取得も不要であるため、新規事業者の参入など可能性を秘めていると言える。ただし、初期投資とランニングコストが課題であるので、可能性について十分な調査、研究を行なってみたいと考える。

## ●世界遺産登録を見据えた拠点

### 施設整備をする考えもゼロなのか

**問** 世界遺産登録を見据えた拠点施設整備をする考えもゼロなのか。観光協会の立ち位置を明確にして立地等の問題を早期決着してほしい。

**答 文化観光工部部長** 観光発展の軸となる団体は観光協会であり、その機能を担うことに変わりはない。

**問** 平成26年6月、平成27年6月の一般質問で、早く取り組むべく、世界遺産観光の戦略策定をお願いした。具体的に時期を示し、策定すると答弁を受け、この時期まで履行されなかったことをどう思うか。

**答 文化観光工部部長** 申し開きできず深くおわびする。

**問** 「たからを見せるプロジェクト」の観光平戸の再生は共感する。観光は、農林・水産・商工業を含む総合産業である。効果的な戦略とは何か、改めて尋ねる。

**答 文化観光工部部長** 観光平戸再生とシティープロモーションによる交流人口拡大を柱に誘客を展開する。戦略として、世界遺産登録と資産の保全と活用やDMO(観光戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人)による観光地域づくりなどである。

## ●教育行政(中津良・堤小学校閉校後の対応)について問う



竹山 俊郎 議員

**問** 中津良及び堤小学校の2校が平成30年4月から津吉小学校に統合される。両校ともに百年を超える歴史がある学び舎として、また地域の拠点として地域の皆様に愛され、共に歩んできた学校が、時代の流れとはいえ、地域からなくなる事に対して、地元の皆様も今後の振興策や社会環境への対応策について思いをめぐらせている。

**答 市長** 統合はもとより、閉校後の施設利活用や中津良地区全体の振興策に對する行政側の考え方としては、今後中津良及び堤両地区ともに、過去の事例に倣い、各区長を初めとする地区の方々を中心とした学校跡地利用検討協議会を組織した上で協議を重ねていくことになる。

**問** 統合はもとより、閉校後の施設利活用や中津良地区全体の振興策に對する行政側の考え方としては、今後中津良及び堤両地区ともに、過去の事例に倣い、各区長を初めとする地区の方々を中心とした学校跡地利用検討協議会を組織した上で協議を重ねていくことになる。

ここに注目

一般質問

委員会報告

平戸のチカラ